

[Home](#) [CD43ニキシー管点灯キット ADNXLUCD43](#)

おすすめ記事



2014-5-21
[ニキシー管による昭和時計がニコニコ超会議に参戦](#)



2014-6-11
[荻野さんの検査証](#)



2014-7-2
[音質に大きな効果アリ！電流帰還式ポータブルヘッドホンアンプ測定結果](#)

最近の投稿

[【7月26日開催】秋葉原電子工作ツアーでポポポンをつくろう！](#)

[AKIBA PC Hotline！に「ニキシー管キット」が掲載！](#)

[音質に大きな効果アリ！電流帰還式ポータブルヘッドホンアンプ測定結果](#)

[アキバ系情報サイト エルミタージュ秋葉原に「ニキシー管まるごとセット」が登場！](#)

[荻野さんの検査証](#)

CD43ニキシー管点灯キット ADNXLUCD43

ニキシー管の追加点灯や旧ニキシー管制御キットをお持ちの方へ最適な点灯キット

CD43 ニキシー管
【点灯キット】
ADNXLUCD43
貴重なビンテージニキシー管
岡谷電機産業製 ニキシー管 CD43 を4本同梱！
制御キット（別売り）と組み合わせることで時計の他、
思い通りのパターンで点灯可能！
複数接続で最大16桁まで拡張可能！（要制御キット）
管の点灯には本「ニキシー管点灯キット」と
別途「ニキシー管制御キット」の2つが必要です。
どちらか片方だけでは点灯させることはできません。

まるごとセットの追加点灯や[旧ニキシー管制御キット](#)をお持ちの方も本点灯キットをお使いいただけます。

* 管の点灯には「ニキシー管点灯キット」と「ニキシー管制御キット」の2つが必要です。

どちらか片方だけでは点灯させることはできません。

貴重なビンテージニキシー管 "岡谷電機産業製 ニキシー管CD43"を4本同梱！

ネオン式数字放電管、通称「ニキシー管」どこか懐かしくやさしい暖かな光が哀愁を誘います。

1960年代初頭から70年代初頭にかけて、電子式卓上計算機をはじめ計測機器などの表示素子として、

このニキシー管が使われていました。



AUNXLUCD43

本点灯キットは大変貴重なビンテージニキシー管「岡谷電機産業製 CD43」を4本を同梱し別途、

ニキシー管制御キットと組み合わせることで、

懐かしのニキシー管を使用した時計を作成することができる電子工作キットです。

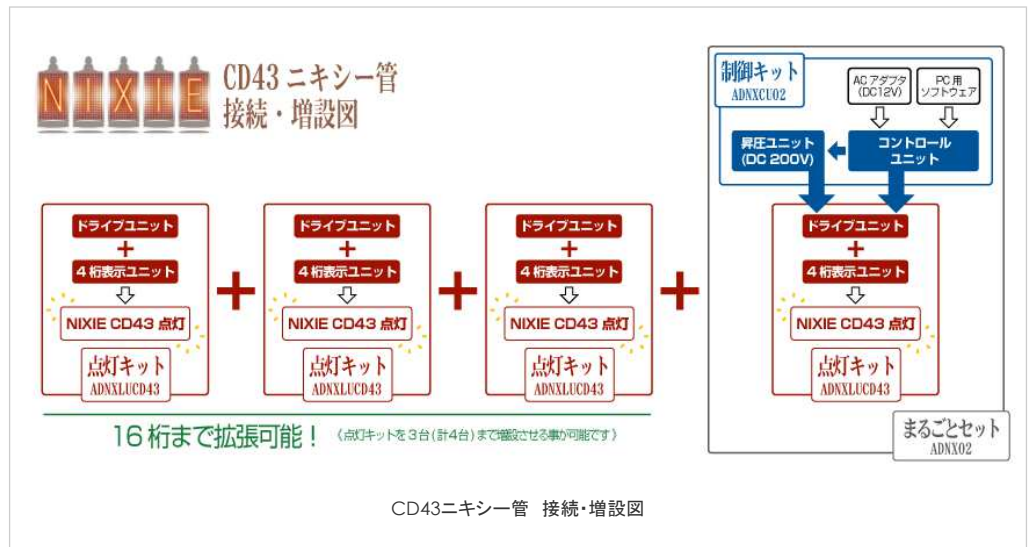


デッドストックされていたニキシー管は1970年代当時の検査証も添付され、そのままの雰囲気、パッケージでお届けいたします。

*** 添付のCD43パッケージについて**

デッドストック品のため経年劣化によるヤレ・ヨレ・破れが確認される場合がありますが品質に影響はございません。時代性を考慮し当時のパッケージをそのまま使用しております。

追加接続で最大16桁まで拡張可能！



写真による図解入りで詳細な組立マニュアルが付属

電子工作入門者の方でも簡単に組立が可能な図解入りの詳細マニュアルが付属、ハンダ付け初心者にも迷わず安心して組み立てを楽しむことができます。

* 高電圧発生箇所があります。感電には十分に注意し、お仕事が工作する際は保護者の監視をお付け下さい。

・組み立て方針を決める

CD43 ニキシー管点灯キットは、ドライブユニットと表示ユニットを連結して使う方法と、ドライブユニットと表示ユニットを分離して、その間をケーブルで接続して使う方法を、組み立て時に選択することができます。

ドライブユニットと表示ユニットを連結して使う場合と分離して使う場合では、使用する部品が一部異なります。また、一度組み立ててしまうと、後から変更することは困難です。



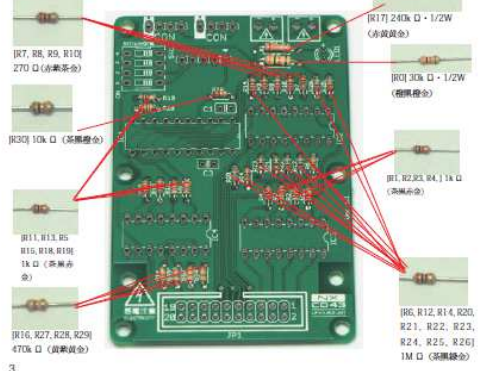
ドライブユニットと表示ユニットを連結しての製作例

組み立て始める前に、どちらの使い方をするか決めてください。

2. 組み立て

・抵抗の取り付け

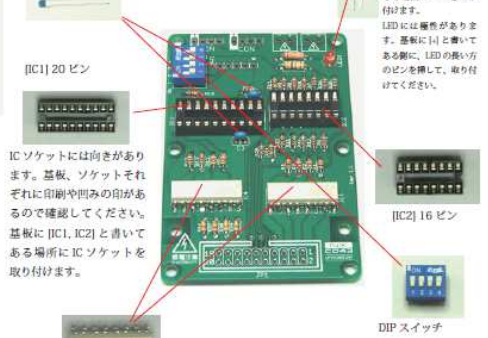
基板に [R0 ~ R30] と書いてある場所に抵抗を取り付けます。抵抗に極性はないので、取り付け向きに注意する必要はありません。



コンデンサと IC ソケット、フォトカブラの取り付け

基板に [C1, C3] と書いてある場所にセラミックコンデンサを取り付けます。

セラミックコンデンサに極性はないので、取り付け向きに注意する必要はありません。



[IC1] 20 ピン

[IC2] 16 ピン

フォトカブラ TL P627-4

フォトカブラの取り付け
基板に [IC3, IC4] と書いてある場所にフォトカブラを取り付けます。フォトカブラには向きがあります。フォトカブラの印が基板の印と同じ側になるように取り付けてください。

・LEDの取り付け
基板に [LED1] と書いてある場所に LED を取り付けます。LED には極性があります。基板に [1] と書いてある側に、LED の長い方のピンを挿して、取り付けてください。

DIP スイッチの取り付け
基板に [SW1] と書いてある場所に DIP スイッチを取り付けます。DIP スイッチには向きがあります。スイッチに書かれた [1,2,3,4] の番号が、基板に白字で書かれた番号と同じ順番になるように取り付けてください。

親切な組立てマニュアルが付属しています。

その他の組立説明書などはこちらへ

[UPVOLTAGE UNIT組立説明書](#)

[DISPLAY UNIT 組立説明書](#)

[接続説明書](#)

[DRIVE UNIT 組立説明書](#)

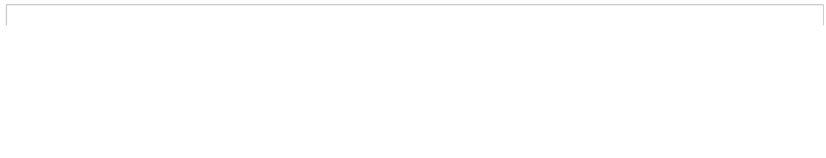
[CONTROL UNIT 組立説明書](#)

情報交換フォーラムを設置 ソースコードの改変も自由

本製品について分からない事について気軽に質問したり、経験者に相談できるフォーラムを特設サイト内に設置しています。

フォーラムにはソースコードや設計資料の公開の他、回路図も公開、上級者には本製品をさらに楽しんでいただく情報が満載です。

もちろん自分の作ったオリジナルファームウェアを紹介する事が出来るので開発もよりスピードアップ！





<製品仕様>

製品名:CD43ニキシー管点灯キット *ニキシー管の点灯には「ニキシー管制御キット」が必要です。

製品型番:ADNXLUCD43

ニキシー管:CD43(日本製) x 4本

インターフェース:I2C

制御用電源:5V

ニキシー管用電源:200V (UPVOLTAGE UNIT (昇圧回路) 使用推奨)

動作環境:温度:0℃~45℃、湿度10%~90%(結露なきこと)

ディスプレイ基板サイズ:W108×D60mm(突起部ふくまず)

メイン基板サイズ:W54.5×D82mm(突起部ふくまず)

梱包内容:キット部品一式|付属品|マニュアル

別途ご用意:半田ごて一式|ニッパー|ラジオペンチ|セロハンテープ|ドライバー

ご注意

高電圧発生箇所があります。感電には十分に注意し、お子様が工作する際は保護者の監視をお付け下さい。

付属管はデッドストック品のため経年劣化によるヤレ・ヨレ・破れがパッケージ等に確認される場合があります

ご利用のPCおよびOS環境によってはすべての機能をご利用いただけない場合があります。

本キットの製作|使用に関し当社の責に帰すべき事由に基づき、お客様に損害が生じた場合、直接被害に限り、販売代金を上限として損害を賠償し、いかなる場合においても販売代金以上の損害を賠償しないものとします。

その他、記載されている製品名、社名は一般的に各社の登録商標、商標です。

改良のため、予告無く仕様変更をすることがあります。予めご了承下さい。